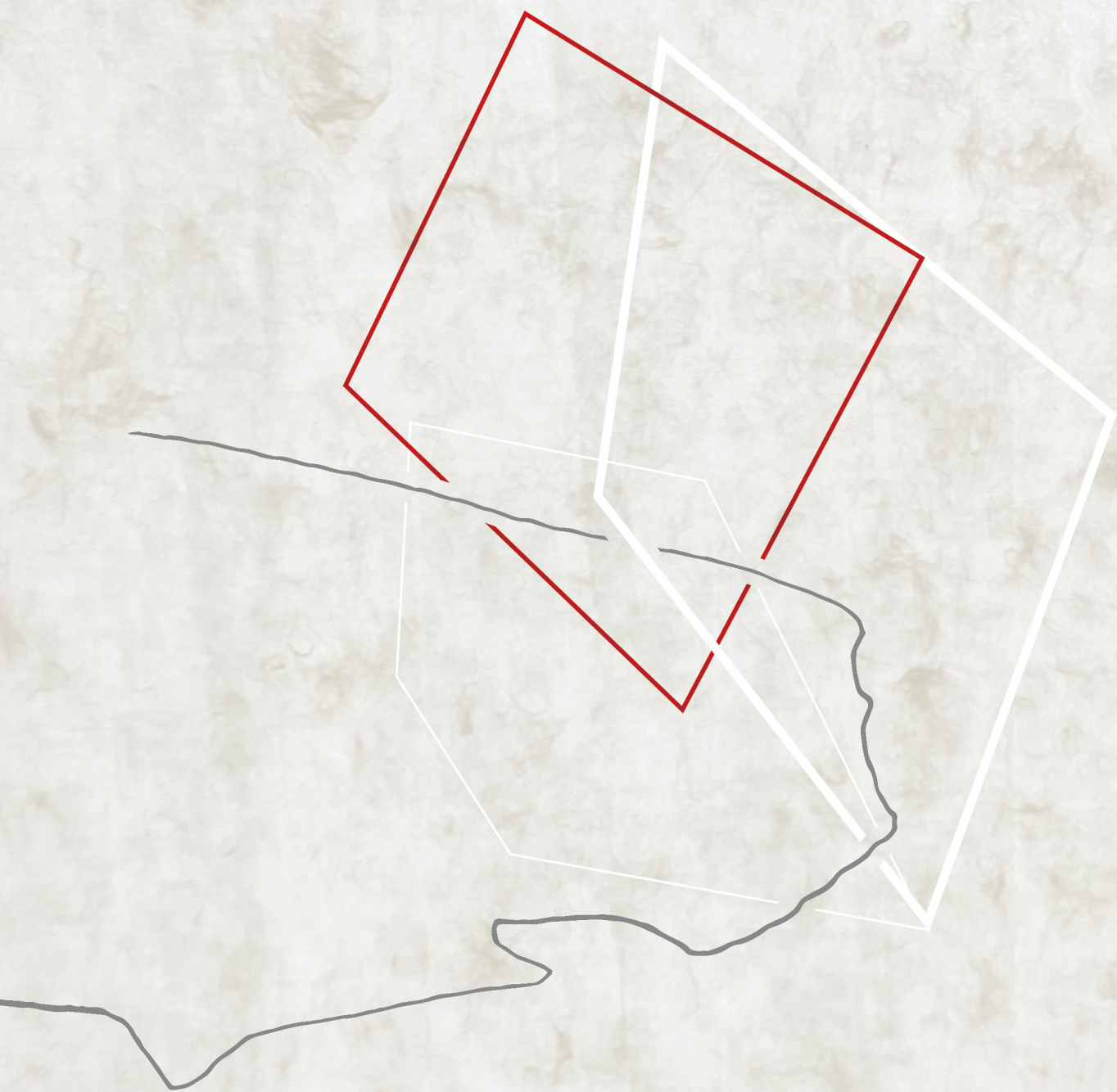




熊川宿若狭芸術祭 2025 関連企画イベント

景色のかけら

熊川宿を舞台に、若狭和紙の特性と光の現象を活用したアートインスタレーション

2025.10.31 Fri. - 11.2 Sun. 10:00-16:00 (最終日は 15:00 まで)

企画・制作・運営 | 武蔵野美術大学 芸術文化学科 佐々木ゼミ 3 年 運営協力 | 仁愛女子短期大学生生活科学学科 有志メンバー、若狭高等学校 有志メンバー

監修 | 佐々木一晋 (武蔵野美術大学芸術文化学科 准教授)、原田周子 (福井県政策企画コーディネーター、SH ARCHITECTS & DESIGN 代表)

特別協力 | 芝三津男氏 (若狭和紙の家)、大江幸一氏 (大江紙店 和紙の店おおえ)、観光ボランティアガイド「若狭の語り部」、若狭町の語り部

主催 | 福井県、(公財) 福井県文化振興事業団

協力 | 若狭町熊川区民のみなさま、熊川宿若狭芸術祭実行委員会 (福井県、(公財) 福井県文化振興事業団、若狭町、NPO 法人若狭美 & B ネット、若狭熊川宿まちづくり特別委員会)

熊川宿若狭芸術祭 2025 関連企画イベント

景色のかけら

交易の拠点として栄えた若狭の宿場町、「熊川宿」を舞台に、
若狭和紙と光の仕組みを活用したアートプロジェクトを開催します！

熊川宿の景観は、長い年月を経て受け継がれてきた有形の文化遺産です。しかし、そこに生きる人々の記憶や感情、日々の交流といった「無形の保存」もまた、この地を形づくる大切な要素です。若狭和紙もまた、同じように「有形」と「無形」を受け継いできました。本企画では熊川宿という場所をありのまま和紙に映し出し、「観る」「触れる」「記録する」行為を通して、熊川宿を再発見することを目指します。

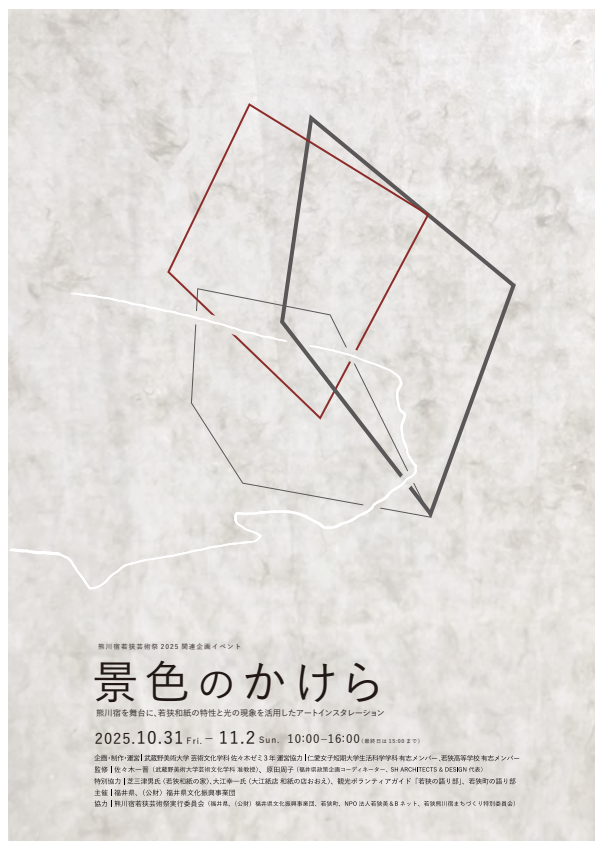
現在、若狭和紙は芝三津男さんという一人の職人によって作られています。縦と横に漉く伝統的な若狭和紙という有形の形を守りながらも、その風合いや佇まいには、芝さんならではの個性が宿っています。それはまるで「母の味」のように、やわらかく人の手から人へと受け継がれる無形のつながりです。



アートプロジェクトについて

本企画は、武蔵野美術大学芸術文化学科 佐々木ゼミ、
仁愛女子短期大学および若狭高等学校の有志メンバー
との共同プロジェクトとして立案・制作・運営を行っています。2025 年夏のフィールドワークにて、熊川宿の街並みや地元の方々の暮らし、そして若狭和紙の伝統に触れながら、「私たちが独自の視点で見出した熊川宿」をテーマに議論と試作を重ねました。参加者は和紙に映り込む風景の揺らぎを感じながら、自分ならではの「景色」を見つけていきます。

景色は通常、自然の眺めを指しますが、ここでは「自らの感性を通して色づいた風景」と捉えています。景色を観ることの意味を問い直し、新たな視点で熊川宿を感じ取る体験を提供します。



①「風景に触れる」新しい体験

町の中にある小さな石ころのような装置をのぞいてみてください（画像1）。光が穴を通り、街の姿が逆さまに映ります。その写像は、手で触ることができ、まるで「景色」に触れているかのように味わうことができます（画像2）。

この石ころのような装置に触れたり移動させることによって、ゆっくりと時間をかけて風景を知覚し、熊川宿に流れる空気や記憶に、一人ひとりが自らの感覚で出会うことができます。

日時 | 2025 年 10 月 31 日（金） - 11 月 2 日（日）

10:00 - 16:00（最終日は 15:00 まで）

会場 | 熊川児童館、熊川宿内全域（福井県三方上中郡若狭町）



②「景色を切り取り、描く」ワークショップ

石ころのような装置をのぞくと、風景が内側の和紙に像となって浮かびます。その輪郭をなぞって、自分だけの「景色」手元のかけらを刻んでみましょう（画像3）。描いた絵を多面体の小さなかけらの上に置き、光に当てると、絵がゆっくりと現れます（画像4）。熊川宿の風景が、あなたの手の中で小さなかたちとして生まれ変わる体験です。

日時 | 11 月 1 日（土） - 11 月 2 日（日）、11:00 - 14:00 -

集合場所 | 熊川児童館（10 分前から受付開始）

所要時間 | 15 分～

参加費無料・事前予約不要（各回先着 10 名程度）



プロジェクトメンバー

企画・制作・運営 | 武蔵野美術大学 芸術文化学科 佐々木ゼミ 3 年

企画・運営協力 | 仁愛女子短期大学生活科学学科 有志メンバー、若狭高等学校 有志メンバー

監修 | 佐々木一晋（武蔵野美術大学芸術文化学科 准教授）、

原田周子（福井県政策企画コーディネーター、SH ARCHITECTS & DESIGN 代表）

特別協力 | 芝三津男氏（若狭和紙の家）、大江幸一氏（大江紙店 和紙の店おおえ）、観光ボランティアガイド「若狭の語り部」、若狭町の語り部

主催 | 福井県、（公財）福井県文化振興事業団

協力 | 若狭町熊川区民のみなさま、熊川宿若狭芸術祭実行委員会（福井県、（公財）福井県文化振興事業団、若狭町、

NPO 法人若狭美&B ネット、若狭熊川宿まちづくり特別委員会）

本リリースに関するお問い合わせ先

武蔵野美術大学 造形学部 芸術文化学科
mail:geibun@musabi.ac.jp
TEL:042-342-6712 / FAX:042-342-5191

アートプロジェクト特設サイト
<https://acds.musabi.ac.jp/kakela>

